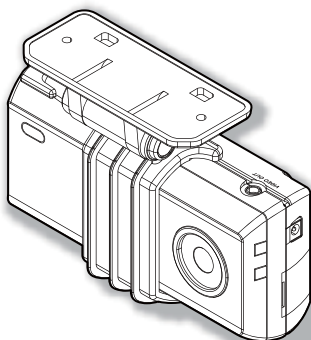


ドライブレコーダー DC-DR1000

取扱説明書／取付説明書／保証書



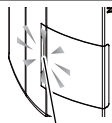
この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
👉 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。

⚠ 注意

電源が ON の状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯した事を確認し、microSDHC カードの抜き差しを行なってください。



microSDHC カード
アクセスランプ

👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。

はじめに

取付け

基本操作

映像を見る

設定

その他

目次

目次	2	設定	32
ご使用上の注意	3	設定を変更する	32
知っておきたいこと	6	撮影モードを変更する	34
各部の名称	7	威嚇 LED を点滅させる	34
本体	7	車両メンテナンス機能	35
付属品	8	安全運転報知機能	36
取付け方法	9	GPS セーフティアナウンス機能	37
取付手順を確認する	9	車速アラーム機能	37
電源コードを取付ける	10	エコモード	38
【別売】車両情報ユニットを		パスワードを設定する	40
取付ける場合	12	録画データを消去する	41
内蔵バッテリーを取付ける	14	工場出荷時に戻す	42
取付け位置を確認する	15	付録	43
ステーを取付ける	16	こんなときは?	43
本体を取付ける	17	エラー確認表	44
基本操作	23	各種ランプ表示確認表	45
映像を記録する	23	製品仕様	46
電源を ON にする	24	保証規定	47
電源を OFF にする	24	DC-DR1000 保証書	裏面
動作を確認する	25		
映像を見る	27		
ビューワーソフトを			
インストールする	27		
映像を再生する	27		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して、説明しています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行なってください。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
- microSDHC カードおよびその他の付属品は子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注意

- ルームミラー裏側への取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないようにフロントガラス上部（ルームミラー裏側）へ設置してください。（⇒ P17）
- 本製品を取付ける際は、取付け面の汚れをきれいに拭き取ってから取付けしてください。汚れなどがある場合、走行時の振動などで本製品が外れる恐れがあります。
※ 必ず付属のクリーナーを使用してください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等を使用した場合、成分によっては剥がれる場合があります。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅している為、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

- 本製品取付け後、地デジアンテナや GPS 機器などに電波干渉などの影響が無い事を確認してください。電波干渉などの影響がある場合は取付位置を変更してください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなど無いが、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
- 故障や破損の原因となりますので、microSDHC カードは指定以外の方向で差込まないでください。
- 本体の通気孔を塞いだり、物を入れないでください。故障の原因となります。
- コード等の配線時は車両金属部とのショートに気をつけてください。故障の原因となります。
- microSDHC カードを抜く時は必ず、電源 OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯した事を確認してから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損、本体故障の原因となりますのでご注意ください。
- 本製品をイタズラなどの目的で使用しないでください。個人情報保護法に抵触する恐れがあります。また使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 車内用カメラは車室内および周辺道路状況などの映像の記録を行います。
- 本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。（ただし microSDHC カード、内蔵バッテリー、両面テープ等の消耗品は保証の対象ではありません）
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品は DC12/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の作動有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

⚠ 使用上のお願い

- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- フロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがありますので、ワイパーの可動範囲に本製品の取付けを行なってください。
- 太陽などの高輝度の映像を記録すると、太陽が黒い点のように映ることがありますが製品の異常ではありません。
- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機から 30cm 以上離して取付けを行なってください。誤作動を起こす可能性があります。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS の電波が受信できない場合があります。
- テレビアンテナの近くには設置しないでください。テレビの受信感度の低下・チラツキ・ノイズの原因となる可能性があります。
- 真夏などの炎天下の中では製品が正常に作動しないことがあります。特に夏場は車内が高温になることがありますので、窓を開け車内の温度を下げてからご使用ください。
- microSDHC カードと内蔵バッテリーは消耗品であり、約 2 ～ 3 年を目安に交換することをお勧めします。
・ 使用状況により microSDHC カードや内蔵バッテリーの寿命は短くなることがあります。
- microSDHC カードの消耗に起因する故障または損傷については一切の責任を負いかねます。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 本製品使用時は必ず付属の microSDHC カードを使用してください。市販の microSDHC カードを使用した場合、正常に記録出来ない場合があります。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはビューワソフトで動画データに変換し、パソコンにバックアップを取ることをお勧めします。(⇒ P31 ⑫)
- 本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータが破損する恐れがあります。
・ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
・ 本体を水にぬらしたり、強い衝撃を与えた場合。
・ 長期間使用しなかった場合。
・ 内蔵バッテリーを接続せずに使用したり、消耗した内蔵バッテリーを使用し続けた場合。

ご使用上の注意

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 衛星受信までの時間について

本製品を初めて使用する時や長時間使用しなかった場合、衛星を受信するまで 5 分程度時間がかかることがあります。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

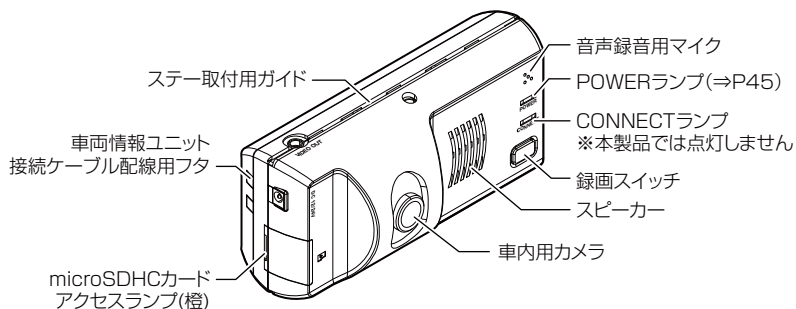
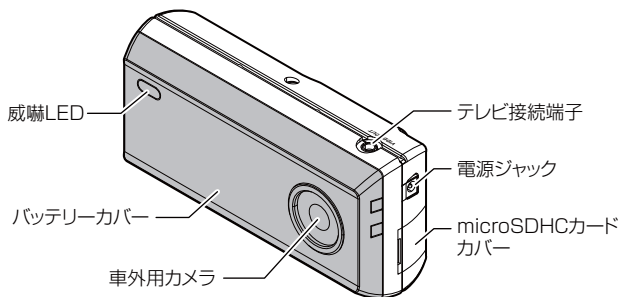
● GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

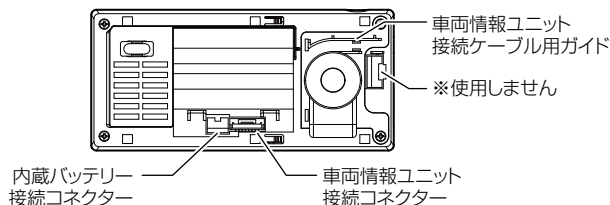
● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機等の車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

本体



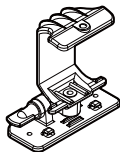
●バッテリーカバーを外した状態



各部の名称

付属品

ステー (1 個)



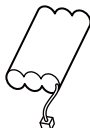
ステー固定用ネジセット
(1 個)



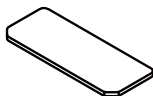
電源コード
(約 5m/1A ヒューズ内蔵)



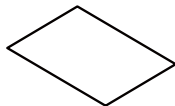
内蔵バッテリー (1 個)



ステー固定用
両面テープ (1 枚)



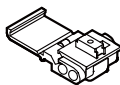
脱脂クリーナー (1 枚)



コードクランプ (5 個)



エレクトロタップ (1 個)



microSDHC カード(4GB/1 枚)
(SD カード変換アダプター付属)



※出荷時本体に
セットされています。

⚠ 注意

microSDHC カードと内蔵バッテリーは消耗品であり、約 2 ～ 3 年を目安に交換することをお勧めします。

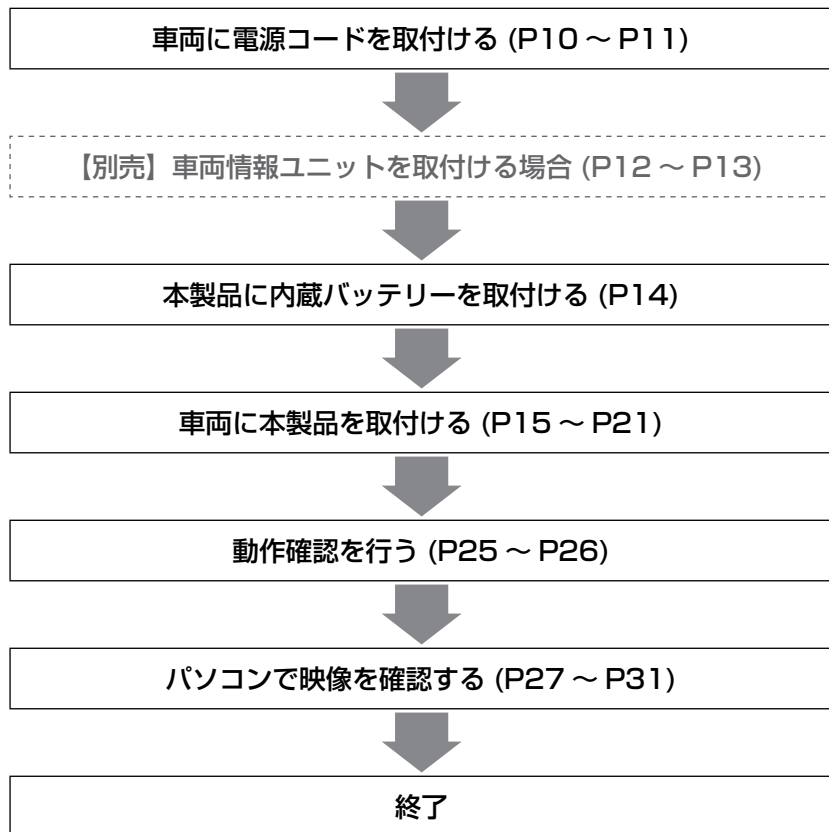
- ・ microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 使用状況により内蔵バッテリーの寿命は短くなることがあります。

👉 アドバイス

- ・ 新しい microSDHC カードを使用する場合は一度本体へ挿入し、microSDHC カードのフォーマットを行なってください。その際設定も工場出荷時に戻ってしまうため、ビューワーソフトから設定の変更を行なってください。
- ・ 車内用カメラは車室内および周辺道路状況などの映像の記録を行います。

取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。



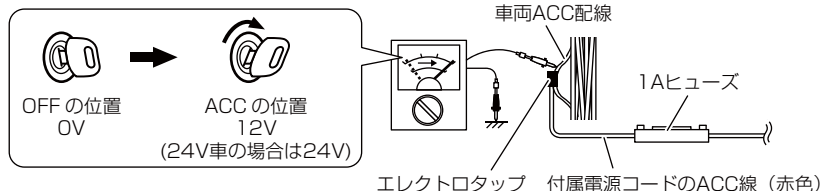
取付け方法

電源コードを取付ける

ACC 線を接続する

付属電源コードの ACC 線（赤色）をイグニッションキー（鍵）が ACC 位置で電圧が 12V（24V 車の場合は 24V）、OFF の位置で必ず 0V になる車両の配線に付属のエレクトロタップで接続します。

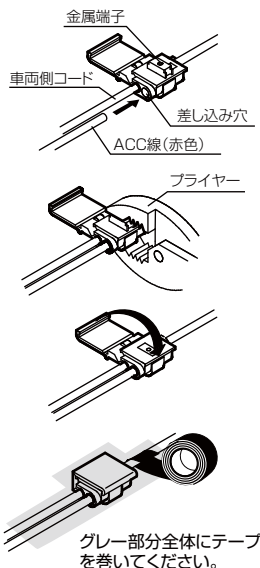
※ OFF の位置で電圧が 0V にならない車両はイグニッション電源へ接続してください。



アドバイス

エレクトロタップを使った接続方法

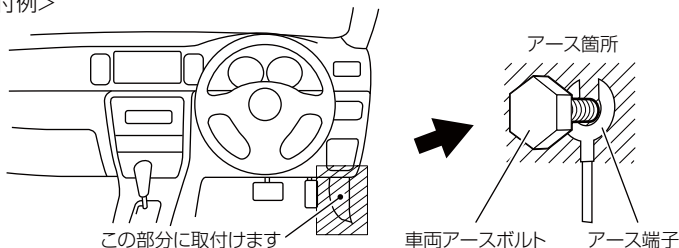
- 1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属電源コードの ACC 線は差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。
- 2) プライヤー等で金属端子を完全に押込みます。
- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。
- 4) 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護します。



アース線を接続する

付属電源コードのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

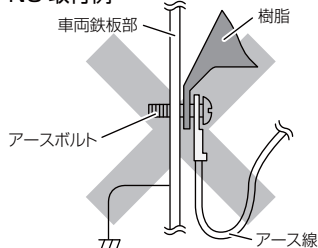
＜取付例＞



⚠ 注意

- ・アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいる（右図）と動作が不安定になることがあります。車両鉄板部に確実に共締めしてください。
- ・アース箇所が塗装されている場合、塗装を剥がして接続を行ってください。

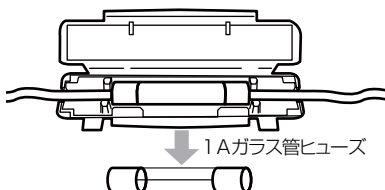
NG 取付例



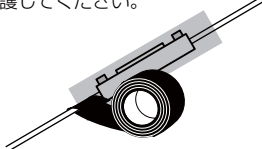
👉 アドバイス

ヒューズ交換方法

付属電源コードのヒューズホルダーのキャップを開け、同じ容量、サイズのガラス管ヒューズ (1A) と交換してください。また、初回取付け時やヒューズを交換した後は必ず絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。



初回取付け時またはヒューズ交換後、絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。



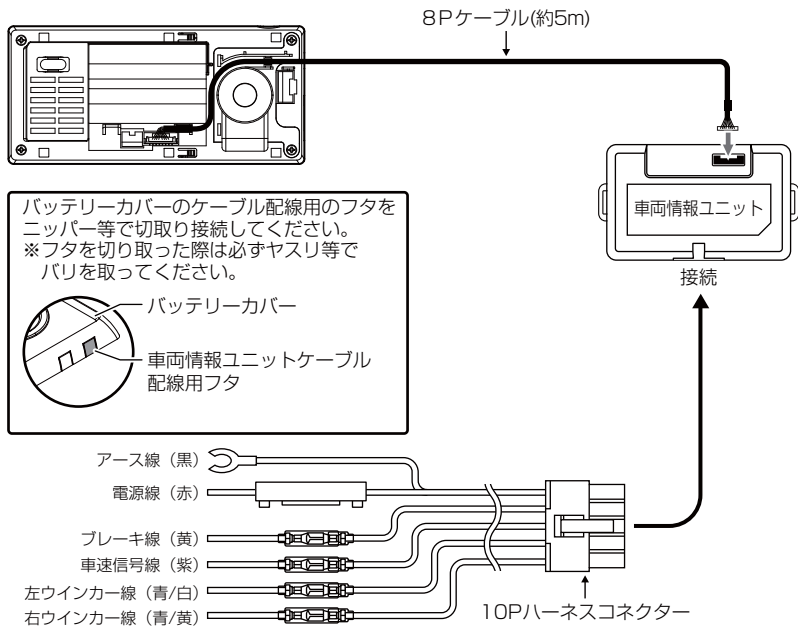
取付け方法

【別売】車両情報ユニットを取付ける場合

弊社別売の DROP-007『車両情報ユニット』を接続すると、車両より車速やブレーキ、ウインカー情報を取得することが出来ます。

接続概要図

DROP-007『車両情報ユニット』を接続する場合、バッテリーカバーの車両情報ユニットケーブル配線用フタを取り除き接続を行なってください。

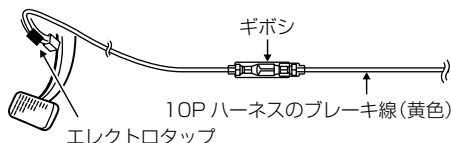
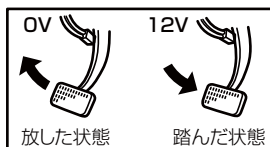


アドバイス

- ・電源線およびアース線の取付けはP10,11をご参照ください。
- ・取付ける際は10Pハーネスのギボシ端子が確実に接続されていることをご確認ください。

フットブレーキ線の接続

ブレーキペダルを踏んで電圧が 12V (24V 車の場合は 24V)、踏まないで 0V になる配線に車両情報ユニット付属のエレクトロタップを使用し 10P ハーネスのブレーキ線 (黄色) を接続します。



車速パルス信号線の接続

車両の車速信号線と 10P ハーネスの車速信号線 (紫色) を車両情報ユニット付属のエレクトロタップを使用して接続します。

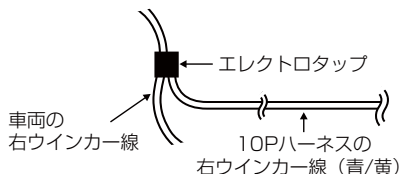
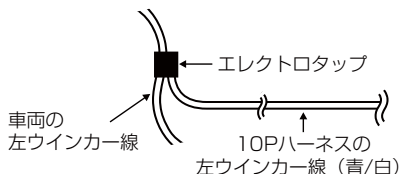
※ 車速信号配線情報については、お近くのカーディーラーや自動車工場などへお問い合わせください。



ウインカー線の接続

車両のウインカーと連動し、12V ⇄ 0V (24V 車の場合は 24V ⇄ 0V) になる線と、10P ハーネスの左ウインカー線 (青 / 白) と右ウインカー線 (青 / 黄) を車両情報ユニット付属のエレクトロタップを使用して接続します。

※ 車両ウインカー線情報については、お近くのカーディーラーや自動車工場などへお問い合わせください。

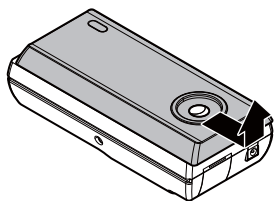


取付け方法

内蔵バッテリーを取付ける

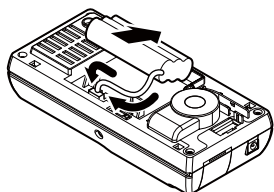
本製品を使用する前に、内蔵バッテリーを本体に取付けてください。

- 1) 本製品のバッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて外してください。

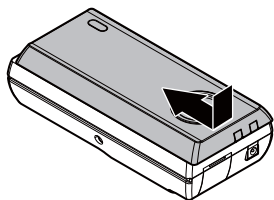


- 2) 右図のようにケーブルを取回し、バッテリーコネクタを接続してケース内に内蔵バッテリーを入れてください。

※防音用のスポンジに押当てながら内蔵バッテリーを入れてください。



- 3) バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取付けてください。

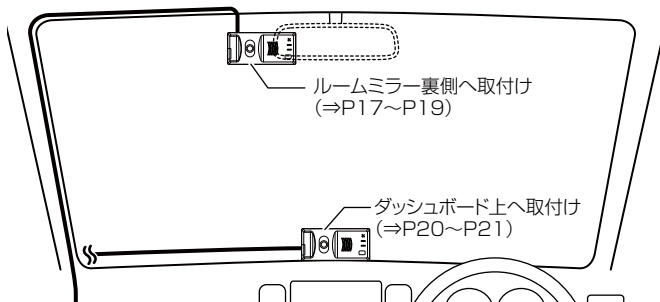


⚠ 注意

- ・コネクタには極性がありますのでコネクタの凹凸に合わせてください。
- ・コネクタは必ず奥までしっかり差込んでください。
- ・内蔵バッテリーの寿命は約2～3年が目安となりますが、使用状況により内蔵バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- ・内蔵バッテリーの購入に関しましては、販売店にてご注文ください。
- ・本製品は専用の内蔵バッテリーを使用しているため、他のバッテリーは使用しないでください。故障の原因となります。

取付け位置を確認する

本製品はステアの向きを変えることでルームミラー裏側、またはダッシュボード上に取り付けることができます。取付け位置についての注意事項等は各取付けページを参照ください。



⚠ 注意

- ・必ず付属のクリーナーで貼付け面および取付けステアの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。
- ・一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。外れる原因となります。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付いていないと剥がれることがあります。
- ・ステア角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。

取付け方法

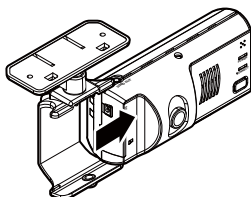
ステーを取付ける

- 1) 本体のガイドに沿ってステーをスライドさせ取付け、付属のネジで固定します。

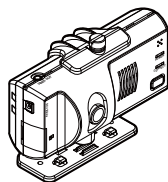
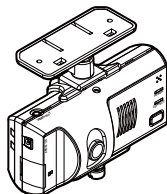
※取付ける場所（ルームミラー裏側またはダッシュボード）によってステーの向きを変更してください。

《ルームミラー裏側》

《ダッシュボード》



ガイドに沿ってスライドさせ、
ステーを取付ける。



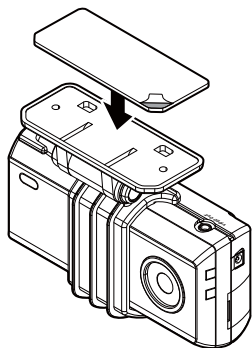
👉 アドバイス

- ・ネジはコインなどで必ず増し締めしてください。
- ・**本体を取外す時は、本体を落としたり、固定しているネジをエアコンの吹き出し口などに落とさないように気を付けてください。**

- 2) ステーに両面テープを貼ります。

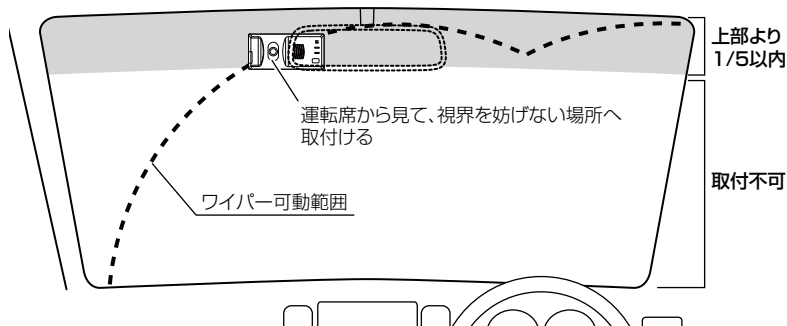
👉 アドバイス

必ず付属のクリーナーで両面テープ貼付け面の汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。パークリナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。



本体を取付ける

ルームミラー裏側へ取付ける



取付け

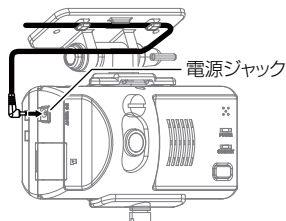
⚠ 注意

- ・ルームミラー裏側への取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 1/5 以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをおすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・地デジ等テレビのアンテナ近くには設置しないでください。
- ・本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・必ず付属のクリーナーを使用してください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等を使用した場合、成分によっては剥がれるため、絶対に使用しないでください。

取付け方法

- 1) 電源コードを接続し、配線の取回しを行なってください。

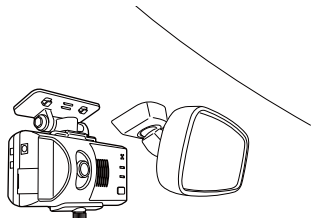
※運転の妨げにならないように、付属のコードクランプを使用し、配線の取回しを行ってください。



- 2) フロントガラスを付属のクリーナーでキレイにし、乾いた後、**本製品が垂直になるように**ステーをフロントガラスへ貼付けます。

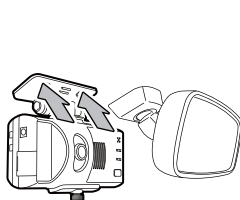
※約 20 秒間押付け、確実に固定します。

※仮止めし、撮影映像および microSDHC カードが取り出せる位置である事を確認することをお勧めします。

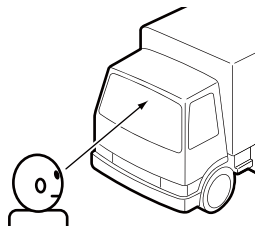


アドバイス

貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラが無いようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがない事を確認してください。



ステー貼付け面を裏側から押さえる。



車外から貼付面にムラがない事を確認する。

◇ステー貼付け面



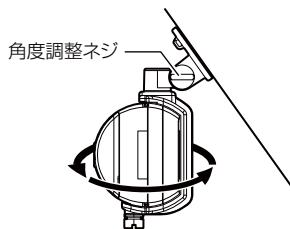
全体に貼付いている



浮き箇所がある

- 3) ステアの角度調整ネジを緩め、フロントガラスに合わせ、本体が垂直になるように調整します。

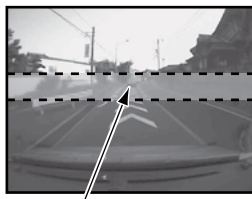
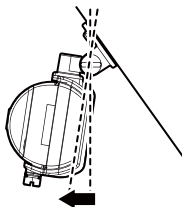
※ステアは水平に 360° 回転しますので、横方向の調整も可能です。



👉 アドバイス

記録した映像が暗い場合

本製品を少し下向きになる（記録映像内の道路水平線が少し上にくる）ように角度を調整することで改善します。

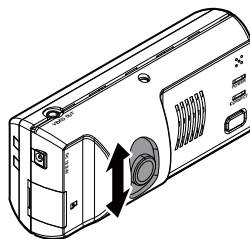


道路水平線が記録映像の中央から中央より少し上にくるように調整してください。

- 4) 車外側のカメラの調整後、車内側のカメラを上下に動かし位置を調整します。

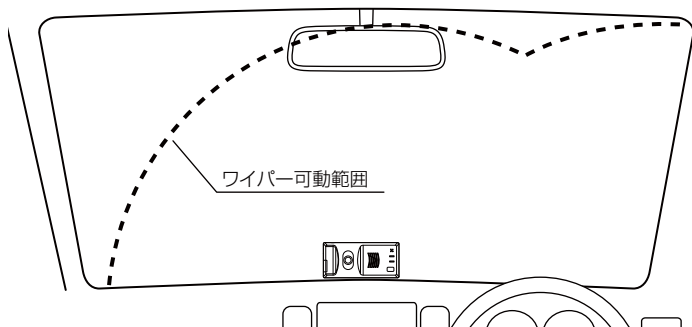
👉 アドバイス

車内側カメラを調整する際は、レンズ部を触らないようご注意ください。



取付け方法

ダッシュボードへ取付ける

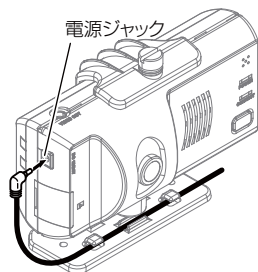


⚠ 注意

- ・ダッシュボード上へ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
※道路運送車両の保安基準第21条（運転者席）、細目告示第27条および別添29
- ・自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- ・ワイパーの可動範囲に本製品を取付けることをおすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・必ず付属のクリーナーを使用してください。パーツクリーナーやガラスクリーナー等を使用した場合、成分によっては剥がれるため、絶対に使用しないでください。
- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に破損する恐れがありますのでご注意ください。そのような場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。

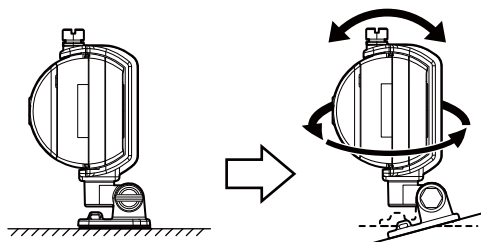
- 1) 電源コードを接続し、配線の取回しを行なってください。

※運転の妨げにならないように、付属のコードクランプを使用し、配線の取回しを行なってください。



- ダッシュボードを付属のクリーナーでキレイにし、乾いた後、本製品を固定します。ステーの角度調整ネジを緩め、**本製品が道路と垂直になるように**角度を調整します。

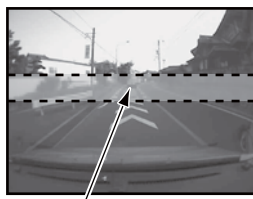
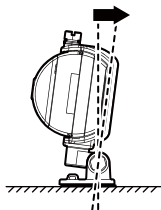
※ステーは 360° 回転します。



アドバイス

記録した映像が暗い場合

本製品を少し下向きになる（記録映像内の道路水平線が少し上にくる）ように角度を調整することで改善します。

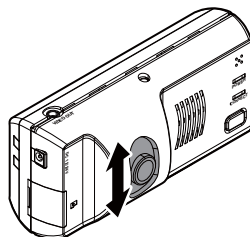


道路水平線が記録映像の中央から中央より少し上にくるように調整してください。

- 車外側のカメラの調整後、車内側のカメラを上下に動かし位置を調整します。

アドバイス

車内側カメラを調整する際は、レンズ部を触らないようご注意ください。

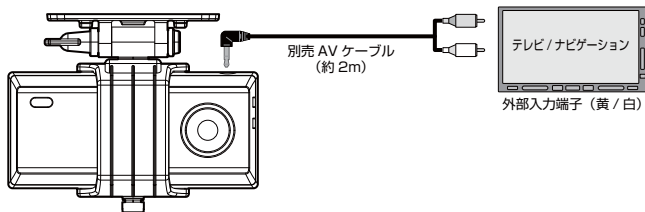


取付け方法

車内で取付方向を確認する（テレビ接続時のみ）

本製品と車載テレビまたはナビゲーションと別売の AV ケーブルで接続することで、実際に撮影する映像を画面に表示しながら取付位置を確認することが出来ます。

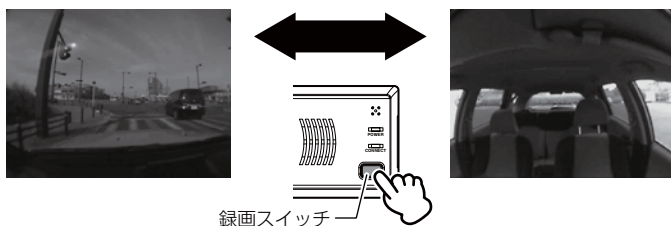
※ 本製品は撮影した映像をテレビで直接再生する機能はありません。



アドバイス

撮影モードの設定 (⇒ P32) を 2 カメの設定にした場合、録画スイッチを押すごとに車外 / 車内のカメラ映像を切替えて表示します。

※ 手動スイッチの設定を ON にすると、録画スイッチを押すごとにスイッチイベントデータとして保存されます。最大記録件数を超えて押すと、古いデータから上書きされてしまうためご注意ください。



映像を記録する

本製品は電源を ON にした後、POWER ランプが緑点灯または遅い点滅した時点から映像の記録を開始し、電源を OFF にするまでを一つの常時録画データ（オールデータ）として記録を続けます。

また、本体の録画スイッチを押した時や衝撃を検出した時、[車速アラーム設定] で設定した車速を超えた時に、通常とは別の録画データ（イベントデータ）としてそれぞれ保存します。

イベント	オールデータ		記録時間
	ON	OFF	
衝撃	30 件	100 件	衝撃を検出した時の 前 20 秒 / 後 10 秒
手動スイッチ	3 件	10 件	スイッチを押した時の 前 90 秒 / 後 10 秒
速度超過	3 件	5 件	[車速アラーム設定] で設定した車速を 超過した時の 前 20 秒 / 後 10 秒

⚠ 注意

- LED 式信号機を撮影すると、信号が点滅したような映像が記録されますが異常ではありません。これは LED 式信号機との同期対策のためで、記録映像において信号機の状況を確認できるようにしたものです。
- 光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。

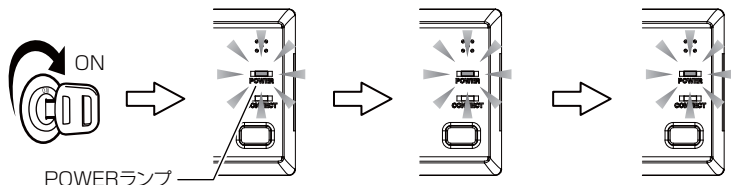
👉 アドバイス

- microSDHC カードの容量がいっぱいになると、古いデータから上書きして新しいデータを記録します。
- 起動直後にスイッチ操作や衝撃を検出しても、記録前の映像が無いため、記録時間の短い（30 秒未満）映像が記録されることがありますが故障ではありません。
- スイッチ操作または衝撃による録画データ（イベントデータ）の保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しいイベントデータを記録することはできません。
- POWER ランプが橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。エラーを解除してください。（⇒ P44、45）
- **事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録が出来ない場合があります。**
- 衝撃による録画件数は、記録した映像によって最大件数に満たない場合があります。

基本操作

電源を ON にする

キーを ON に回してください。



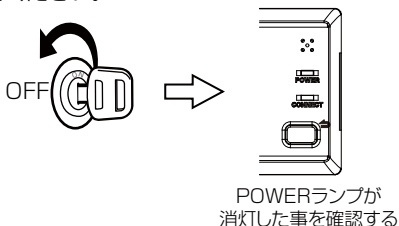
POWER ランプ	橙点灯	遅い緑点滅	緑点灯
本体の状態	初期チェック中	正常録画中 GPS 未受信	正常録画中 GPS 受信

👉 アドバイス

- ・電源 ON してからの時間が最大記録時間を超える場合、古いデータから順に上書きされます。
- ・終了時に正常に録画データの保存が行われなかった場合、次回起動時に録画データの修復処理を自動で行います。修復処理中は『録画データを修復しています』というアナウンスを継続して行います。

電源を OFF にする

キーを OFF に回してください。



⚠ 注意

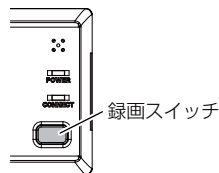
電源が ON の状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯した事を確認し、microSDHC カードの抜き差しを行ってください。



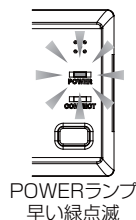
動作を確認する

1. 電源を ON にし、スイッチ操作での記録を確認する

- 1) 電源を ON にし、POWER ランプが遅い緑点滅 / 緑点灯している時（録画中）にスイッチを押してください。



- 2) POWER ランプが早い緑点滅を始め、スイッチを押した前後合計約 100 秒間の録画データが保存されます。



2. 映像および音声の記録を行う

本製品は映像と同時に音声も記録することができます。

《記録方法》

・GPS を受信（POWER ランプが緑点灯）させる。

・ラジオやオーディオの音を鳴らす。

上記状態で一定の速度で走行（30km/h 程度）します。

※映像および音声は自動で記録されます。

👉 アドバイス

初期設定は音声録音機能は ON です。設定で OFF にすることもできます。
(⇒ P32)

基本操作

3. 記録した映像を確認する

パソコンのビューワースoftwareを使用し、記録した映像を確認してください。

《確認内容》

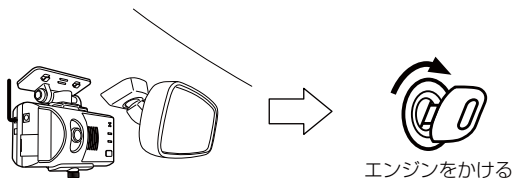
- ・『オールデータ』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること
 - ・『スイッチイベント』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること
 - ・録画データに音声録音されていること。
 - ・速度が表示されていること
- ※ GPS 受信時のみ速度は表示されます

👉 アドバイス

常時録画の設定 (⇒ P33) が OFF になっていると『オールデータ』は保存されません。

4. 内蔵バッテリーの充電を行う

再度車両へ取付けたあと、エンジンをかけて内蔵バッテリーの充電を行ってください。



👉 アドバイス

- ・商品出荷時には検査用予備充電しかされていないので、長期間充電しない状態が続くと内蔵バッテリーが自然放電している場合があります。初めてご使用になる時は 8 時間程度の充電が必要です。
- ・充電を断続的に行う場合は、目安として 1 日 1 時間程度の走行で約 2 週間で満充電となります
- ・別売の AC アダプターを使用することで、家庭用コンセントで充電することもできます。

ビューワソフトをインストールする

弊社ホームページ(<http://www.e-comtec.co.jp/>)よりビューワソフトをダウンロードし、ホームページの手順に従いインストールします。

○対応 OS : Windows7/Vista/XP



iSafeView2.exe
アプリケーション
iSafeView2

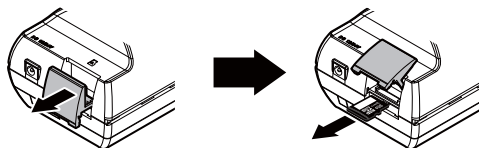
👉 アドバイス

パソコンの OS が Windows XP の場合、【Microsoft .NET Framework 3.5】および【Microsoft .NET Framework 3.5 日本語 Language Pack】が必要になります。その場合、マイクロソフト社のダウンロードセンターからダウンロードし、インストールを行なってください。

映像を再生する

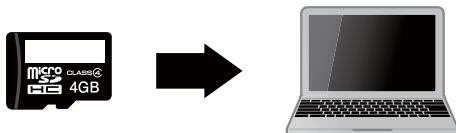
1) microSDHC カードカバーを開け、microSDHC カードを取出します。

- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



2) カードリーダー等を使用し、パソコンへ挿入します。

※ microSDHC カードに対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識できません。



👉 アドバイス

- ・ microSDHC カードを取出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- ・ microSDHC カード内のデータを直接加工（切り取りや貼り付けなど）しないでください。データを正常に読み取れなくなる恐れがあります。

映像を見る

3) インストールしたビューワーソフトを起動します。



①	スイッチ操作により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑦	『SD 名称』(⇒ P32) に入力した内容を表示
②	衝撃により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑧	保存されている録画データのサムネイルを表示
③	速度超過により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑨	録画データの撮影日時を表示
④	オールデータの一覧を表示	⑩	録画データの最大『G』を表示 ※オールデータでは表示されません
⑤	本体の設定画面を表示	⑪	録画データの最高速度を表示 ※オールデータでは表示されません
⑥	パソコンに保存した録画データを読み込む	⑫	運行データを CSV 形式で出力する ※最新の 1000 件を保存する

👆 アドバイス

録画データソート機能

録画データの⑧『撮影日時』または⑨『最大 G』をクリックすることで、撮影日時順や最大 G 値順に並べ替えることができます。

パソコンに保存したデータを読み込む

⑤『SD ⇄ PC』をクリックすることで、パソコンに保存されたデータを選択し、確認することが出来ます。

パソコンに保存する際は microSD カード内のデータすべてを任意のフォルダーへ保存してください。

CSV ファイルで確認できる保存情報

本製品のビューワーソフトで出力されるデータは下記の 2 種類になります。

《運行データ》

保存情報	記録内容
電源をオンにした時間	年月日 時分秒
電源をオフにした時間	年月日 時分秒
電源オンからオフまでの走行距離※	0 ~ 9999.9km
電源オンからオフまでのアイドリング時間※	00:00:00 ~ 99:59:59
電源オンからオフの間に発生した速度超過時間※	00:00:00 ~ 99:59:59
電源オンからオフの間に発生した速度超過回数※	000 ~ 999 回
電源オンからオフの間に発生した安全運転報知回数	000 ~ 999 回
電源オンからオフの間に発生した衝撃トリガの回数	000 ~ 999 回
電源オンからオフの間に発生したスイッチトリガの回数	000 ~ 999 回

※ DROP-007『車両情報ユニット』接続時は車速パルスにより算出した速度を利用しています。

《イベントデータ》

保存情報	記録内容	備考
発生時刻	年月日時分秒	表示例) 2012/08/01 10:00:00
発生場所	緯度 *** *****°	表示例) 035.108739°
	経度 *** *****°	表示例) 137.100304°
発生時 加速度	前後 -9.99 ~ +9.99G	後ろ（加速側）を正とする
	左右 -9.99 ~ +9.99G	右側を正とする
	上下 -9.99 ~ +9.99G	上側を正とする
	合成 0 ~ +9.99G	表示例) 0.06
発生時速度	000 ~ 999km/h	表示例) 80km/h

映像を見る

4) 確認したい映像をクリックすると再生画面に切り替わり、再生が始まります。



アドバイス

- ・ Google マップはインターネット接続時のみ表示されます。
- ・ ビューワースoftwareで変換される動画データをパソコンで再生する場合、QuickTimeなどで再生することができます。
- ・ 速度表示が実際の速度と大きく異なる場合は、ビューワースoftwareの設定画面より車速パルスの設定を行なってください。(⇒ P32)
- ・ ブレーキおよび左右のウインカーの作動状態が表示されない場合は、車両への接続を確認してください。(⇒ P13)

※オプション DROP-007「車両情報ユニット」接続時のみ

①	メイン画面表示。初期状態では車外側のカメラの映像を表示	⑬	現在のチャプターの再生時間 / 総時間を表示 ※上書きされたデータがある場合、文字色がオレンジに変わります。
②	加速度グラフを表示	⑭	現在のトラックの再生位置を表示
③	各項目をクリックすることでグラフ表示をON/OFF する 【X】.....X 軸（前後）の ON/OFF 【Y】.....Y 軸（左右）の ON/OFF 【Z】.....Z 軸（上下）の ON/OFF 【C】.....C 軸（合成値）の ON/OFF	⑮	各種検知アイコンを表示 【G】.....トリガ（衝撃）を検出した場所 【S】.....トリガ（手動スイッチ）を検出した場所 【T】.....長時間運転を検出した場所 【★】.....安全運転を検出した場所 【▲】.....急加速を検出した場所 【▼】.....急減速を検出した場所 【#】.....速度超過運転を検出した場所
④	録画データの先頭に戻る	⑯	メイン画面とサブ画面の表示場所を切替える
⑤	前のトラックに戻る	⑰	加速度 / 撮影モード / GPS の受信・未受信 / 音声の有無を表示 ※データ読み込み中は黄色文字で表示
⑥	再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる	⑱	サブ画面表示。初期状態では車内側のカメラの映像を表示
⑦	コマ送りする※再生中のみ	⑲	インターネット接続時、Google マップを表示 ※ GPS 受信時のみ自車位置を表示
⑧	早送りする※再生中のみ	⑳	ウインカーの動作を表示 ※オプション DROP-007「車両情報ユニット」接続時のみ
⑨	次のトラックに進む	㉑	速度表示
⑩	録画データの一覧画面に戻る	㉒	ブレーキの ON/OFF を表示 ※オプション DROP-007「車両情報ユニット」接続時のみ
⑪	メイン画面に表示された映像の静止画 (jpeg) を 1 枚のみ保存する ※一時停止中のみ表示	㉓	再生データのトラックの数 / 録画日時を表示 ※データ読み込み中は黄色文字で表示
⑫	現在再生している映像を動画データ (avi) に変換し保存する ※一時停止中のみ表示		

設定

設定を変更する

ビューワーソフトの『本体設定』より、設定を変更することができます。



アドバイス

設定を行なった microSDHC カードを本体に挿入し、電源を入れる事によって本体に設定が反映されます。

⚠ 注意

『車両情報ユニット』を接続しない場合は車速パルスの設定をオートまたは GPS に設定してください。GPS 情報による車速表示が行われなくなります。

本体設定

スイッチイベント

On

Off

衝撃イベント

On

Off

速度超過

On

Off

常時録画

On

Off

検出加速度

0.5 G

撮影モード

2カメラ 10*10fps

音声録音

On

Off

音量

☒ 5

車速パルス

オート

威嚇LED

On

Off

オイル交換

☐ OFF

走行距離

1847.14 Km

クリア

12ヶ月点検

☐ OFF

安全運転

☐ OFF

GPSアナウンス

On

Off

車速アラーム

☐ OFF

ECOモード

On

Off

録画データ消去

工場出荷時に戻す

パスワード

SD名称(※/ : * ? " < > | は使用禁止)

〇〇-〇〇

設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
スイッチイベント	ON/OFF	ON	
衝撃イベント	ON/OFF	ON	
速度超過	ON/OFF	OFF	『車速アラーム』の設定と連動
常時録画	ON/OFF	ON	
検出加速度	0.1 ~ 1.0G	0.4G	敏感 (0.1G) ~ 鈍感 (1.0G)
撮影モード (⇒ P34)	2 カメ … 10+10fps / 5+5fps 1 カメ … 20fps / 10fps / 5fps	2 カメ 10+10fps	
音声録音	ON/OFF	ON	
音量	OFF / 1 ~ 10	5	
車速パルス	GPS/2/4/6/8/16/20/25/ オート	オート	
威嚇 LED	ON/OFF	OFF	
オイル交換	OFF/1000km ~ 9000km	OFF	500km 単位
走行距離	ON/OFF	OFF	
12 ヶ月点検	OFF/1 月 ~ 12 月	OFF	1 ヶ月単位
安全運転	OFF/ アラーム / 音声	OFF	
GPS アナウンス	ON/OFF	OFF	
車速アラーム	OFF/10km/h ~ 120km/h	OFF	10km/h 単位
ECO モード	ON/OFF	OFF	
SD 名称	入力した内容がビューワソフト左上 (⇒ P28) に表示されます。車種やナンバー等を入力し、microSD カードの管理にご使用ください。		

👉 アドバイス

- ・別売の車両情報ユニットを接続時に【車速パルス】の設定を[オート]に設定している場合、項目上へマウスカーソルを移動させると現在のパルス数が表示されます。
- ・【威嚇 LED】の項目上へマウスカーソルを移動させると本体の内蔵バッテリー充電状態が表示されます。

設定

撮影モードを変更する

撮影モードを変更することで、1 カメ / 2 カメ、フレームレートを変更することができます。

また撮影モードを変更することにより本体に記録できる時間も変わります。

※ 下記表の記録時間は、付属の microSDHC カード (4GB) を使用した場合の目安としてください。記録時間は録画する風景や明暗によって変動します。状況によっては記載内容の半分以下になることもあります。

《設定内容》

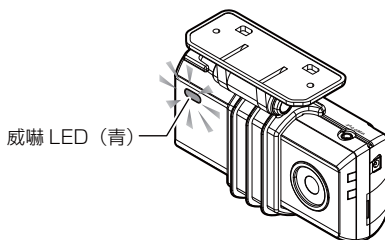
カメラ数	フレームレート	記録時間
1 カメラ	5fps	約 12 時間
	10fps	約 6 時間
	20fps	約 3 時間
2 カメラ	5+5fps	約 6 時間
	10+10fps	約 3 時間

※ フレームレートとは 1 秒あたりの記録枚数を表わしており、fps (Frames Per Second) という単位で表します。数値が大きいほど映像が滑らかに再生されます。

威嚇 LED を点滅させる

本製品は本体カメラ側に威嚇 LED (青) を搭載しています。『威嚇 LED』の設定を ON にすることでキー OFF 後、一定期間点滅します。

※ 点滅する期間は内蔵バッテリーの充電状態によって異なります。



👉 アドバイス

威嚇 LED は内蔵バッテリーを使用するため 1 週間に 2 時間以上走行する (充電する) ことをお勧めします。

※ 充電状況により威嚇 LED が消灯することがあります。

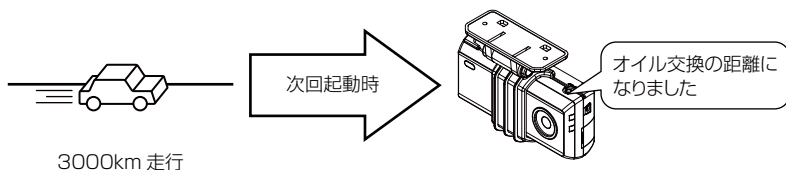
車両メンテナンス機能

設定した月・走行距離になったあと、次回起動時にアナウンスを行います。

オイル交換のお知らせ

設定画面で『1000km～9000km（500km単位）』から選択し設定すると、設定した距離を走行後、次回起動時にオイル交換を促すアナウンスを行います。

例) 3000km に設定した場合



アドバイス

オイル交換終了後、設定画面で『走行距離リセット』を行うことで、再度設定した距離を走行後オイル交換のアナウンスを行います。

12ヶ月点検のお知らせ

設定画面で『1月～12月』から選択し設定することで、設定した月になると車両点検を促すアナウンスを行います。

「車両点検の時期になりました。」

設定

安全運転報知機能

急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出すると音声またはアラーム音でお知らせする機能です。エコ運転の目安にしてください。また、長時間運転報知機能も連動して ON になります。

アナウンス内容

運転状況によって音声がか替わります。

安全運転報知レベル	アラーム音、音声内容
レベル 1	効果音 安全運転を心がけましょう
レベル 2	効果音 安全運転を心がけてください
レベル 3	効果音 運転に注意してください。

※ 設定をアラームにした場合、効果音のみ鳴ります。

アドバイス

- ・衝撃検出レベルの設定に応じて報知レベルが変化します。
- ・ブザーが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時は、安全運転報知機能は作動しません。

長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記アナウンスを行います。

※ 安全運転報知機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になりました。」

GPS セーフティアナウンス機能

『GPS アナウンス』の設定を [ON] にすると事故多発ポイントや速度監視路線等、事故の多い地点を通過する前に注意を促すアナウンスを行います。

※ ポイントの追加および更新を行う事はできません。

事故多発ポイント

事故多発ポイントとして登録されている地点の約 300m 手前で 1 回下記アナウンスを行います。

「この先事故多発ポイントです。」

速度監視路線

速度監視路線として登録されている地点の約 1km 手前で 1 回下記アナウンスを行います。

「この先速度監視路線です。」

車速アラーム機能

- 設定画面で『10 ~ 120km/h』から選択し設定することで、設定した速度を超えた場合に下記アナウンスを行います。またアナウンス後 1 分間は再アナウンスを行いません。
- 『速度超過設定』を [ON] に設定していると、本機能で設定した速度を超えた時点で『速度超過録画データ』として映像を記録します。

「スピードの出し過ぎに注意しましょう。」

設定

エコモード

エコモードを設定することで、エコ運転を支援するアナウンスを行います。

項目	アナウンス内容
加速評価（ふんわりアクセル）	ふんわりアクセルです。
加減速評価	緩やかな加速を心がけましょう。
	緩やかな減速を心がけましょう。
一定速度での運転評価	エコ運転です。
アイドリング検出機能	長時間のアイドリングは控えましょう。
タイヤの空気圧チェック	タイヤの空気圧を点検しましょう。
エアコンの適正温度	エアコンは適切な温度に設定しましょう。

加速評価（ふんわりアクセル）

ゆっくりスタートした時に上記アナウンスを行います。

加減速評価

急な加減速を検出した時に上記アナウンスを行います。

一定速度での運転評価

30 ～ 60km/h において一定速度での走行を続けると上記アナウンスを行います。

アイドリング検出機能

速度が 0km/h の状態が 5 分間連続した場合に左記アナウンスを行います。
無駄なアイドリングを無くすことで、燃費の向上や CO₂ の削減に役立ちます。

※ アナウンスを行うまでの時間を変更することはできません。

アドバイス

アイドリング検出機能を使用する場合、付属電源コードの ACC 線を車両 IG 線に接続する事をお勧めします。

※車両 ACC 線に接続した場合、ACC ON の状態（エンジン OFF）でもアナウンスを行います。

タイヤの空気圧チェック

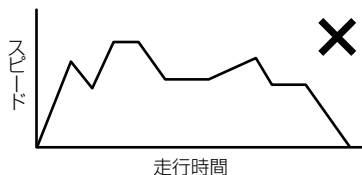
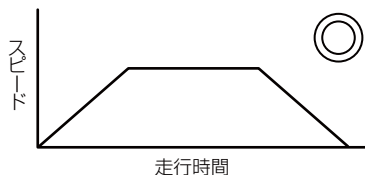
月が変わって最初の起動時に 1 回、左記アナウンスを行います。

エアコンの適正温度

7/1 ~ 8/31 の 10:00 ~ 15:59 に起動したときに 1 日に 1 回のみ左記アナウンスを行います。また他のエコモードのアナウンスと重なった場合はアナウンスを行いません。

エコ運転を行う際の注意点

1. 丁寧なアクセルワークを心がけましょう。
※最初の 5 秒で 20km/h 程度になるのが目安です。
2. 車間距離に余裕を持ち、急加速・急減速を行わず速度変化の少ない運転をしましょう。
3. 早めにアクセルを OFF にし、エンジンブレーキを有効に使いましょう。
4. 気象条件に応じたエアコン操作をしましょう。
5. 無用なアイドリングはやめましょう。
6. タイヤの空気圧は定期的にチェックしましょう。
7. 無駄な荷物を車に積むのはやめましょう。



設定

パスワードを設定する

パスワードを設定することで、プライバシーの保護や他人に録画データを見られないようにセキュリティを強化することができます。

△ 注意

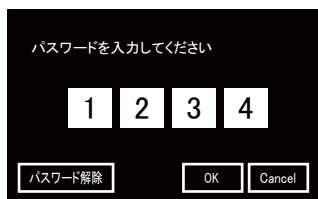
設定後、パスワードを忘れると解除することもできません。ご注意ください。

設定方法

- 1) 『本体設定』内の『パスワード』を選択します。



- 2) 4桁の数字を入力し、『OK』を押します。



- 3) 次回ビューワソフト起動時より、正確なパスワードを入力しないと再生することができません。

👉 アドバイス

- ・ 誤ったパスワードを入力した場合は、再度入力を行なってください。
- ・ パスワードを設定した場合は、パスワードを忘れないように管理してください。
- ・ パスワードを忘れてしまった場合、microSDHC カードのフォーマットをパソコンで行う事で使用することができます。ただし録画データも消去されてしまいます。

パスワード設定を解除する場合

パスワード設定画面で『パスワード解除』を選択してください。

録画データを消去する

設定内容を残した状態で、録画データのみを消去することができます。

消去方法

- 1) 『本体設定』内の『録画データ消去』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので消去しても良ければ、『はい』を選択します。



- 3) microSDHC カードを本体に挿入し電源を入れると、録画データの消去が開始されます。

アドバイス

- ・設定を行なった microSDHC カードを本体に挿入し、電源を入れる事によって本体に設定が反映されます。
- ・記録した映像を 1 件単位で削除することはできません。

設定

工場出荷時に戻す

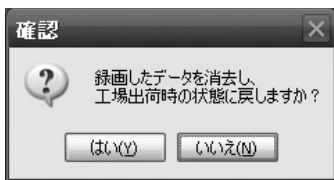
工場出荷時に戻すことで、設定と記録した録画データを消去します。

工場出荷時への戻し方

- 1) 『本体設定』内の『工場出荷時に戻す』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので工場出荷時の状態に戻しても良ければ、『はい』を選択します。



- 3) microSDHC カードを本体に挿入し電源を入れると、設定内容と**記録した録画データおよびパスワードの消去**が開始され、工場出荷時の状態に戻ります。

アドバイス

- ・設定を行なった microSDHC カードを本体に挿入し、電源を入れる事によって本体に設定が反映されます。
- ・記録した映像を 1 件単位で削除することはできません。
- ・設定を変更する場合は、再度ビューワソフトから設定の変更を行なってください。

こんなときは？

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
POWER ランプが点灯しない。	●配線を間違えていませんか？ ●ヒューズが切れていませんか？ ●接触不良、断線などしていませんか？	10,11 ページ 11 ページ 10,11 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	●設定画面にて『録画データ消去』を行うことで全映像を削除することができます。1 件ずつ削除することはできません。	41 ページ
事故の衝撃で車両バッテリーが破損しても映像を記録することはできますか？	●衝撃検出時内蔵バッテリーにより、車両のバッテリーが破損しても映像を 10 秒間記録することができます。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	●本製品は撮影モードを変更することで記録時間を変更することができます。ただし、記録時間は録画する風景や明暗によって変動します。状況によっては記載内容の半分以下になることもあります。	34 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	● microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に上書きされていきます。	23 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	● microSDHC カードは消耗品です。2～3 年を目安に交換を行ってください。	5 ページ
microSDHC カードがパソコンで認識されない	●お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。	27 ページ
『イベントデータ』に記録時間が短い（30 秒未満）映像がありますが故障ですか？	●起動直後は記録前の映像が無いため、記録時間の短い映像が記録されることがありますが故障ではありません。	23 ページ
実際の速度と大幅に違う	●車速パルスの設定が異なっていると速度が大幅に異なって表示されます。	33 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	—
記録した映像が暗い	●本製品を少し下向きになる（記録映像内の道路水平線が少し上にくる）ように角度を調整することで改善する場合があります。	19,21 ページ
威嚇 LED が光らない	●本製品の内蔵バッテリー充電状態によって点滅期間は異なります。	34 ページ

エラー確認表

エラーアナウンスが発生した場合、下記内容をご確認ください。

エラー項目	音声アナウンス内容	エラー項目別対処方法
内蔵バッテリー異常	内蔵バッテリー異常です	内蔵バッテリーの充電を行ってください。充電を行ってもエラーが解除されない場合、内蔵バッテリーの交換が必要です。
microSDHC カードフォーマット異常	SD カードをフォーマットする必要があります スイッチを 3 秒間押してください	microSDHC カードの異常を検出し、自動で修復できない場合にアナウンスを行います。また、新しい microSDHC カードを挿入した際にもアナウンスを行います。 アナウンスに従い（スイッチを 3 秒間押す）、フォーマットを行ってください。
microSDHC カード異常	SD カード異常です	microSDHC カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSDHC カードを抜き、端子部が汚れていないか確認後、再起動してください。 症状が改善されない場合は、microSDHC カードを交換してください。
microSDHC カード未検出異常	SD カードが入っていません	電源を OFF 後 microSDHC カードを挿入し、再起動してください。
スイッチ異常	スイッチ異常です	スイッチが押されたままになっていないことを確認をし、再起動してください。
機器温度異常	機器温度が高くなっています	本体の使用温度範囲を超えています。夏場などはしばらく時間を置いてからご使用ください。
機器異常	機器異常です	電源を OFF にし、内蔵バッテリーを外してください。約 1 分程度おいた後、内蔵バッテリーを取付け、キーを ON にし電源を入れてください。 症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談下さい。
microSDHC カードを起動中に抜いた場合	SD カードを抜かないでください	電源を OFF 後 microSDHC カードを挿入し、再起動してください。
自動修復	録画データを修復しています	前回終了時に正常に録画データの保存が行われませんでした。自動で修復されます。

各種ランプ表示確認表

本体作動時の POWER ランプや microSDHC カードアクセスランプの点灯パターンの確認表です。

※ 本製品では『CONNECT ランプ』は点灯しません。

◆ POWER ランプ

GPS 受信状態	表示	内容
受信	緑点灯	正常動作（記録中）
未受信	遅い緑点滅	
—	早い緑点滅	スイッチ操作、衝撃による記録中
	橙点灯	システムチェック中
	橙点滅	エラー表示 ※音声アナウンスを確認してください

◆ microSDHC カードアクセスランプ

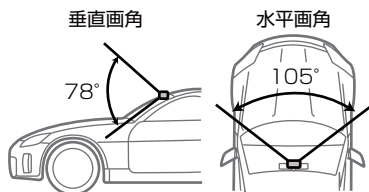
表示	内容
橙点滅	microSDHC カードへアクセス中はランプが点滅します。（起動～システム OFF まで）ランプ点滅中は microSDHC カードを抜かないでください。故障の原因となります。

付録

製品仕様

本体

電源電圧	DC12 / 24V
平均消費電流	300mA 以下
作動温度範囲	-10℃～60℃
本体サイズ	116 (W) × 54 (H) × 45 (D) / mm (突起部除く)
有効画素数	30 万画素 (車内側/車外側共に)
撮像素子	CMOS
記録映像サイズ	640 × 480
カメラ画角	水平 105° 垂直 78°
総記録時間	約 12 時間 (撮影モードにより異なる)
記録方式	常時録画、3 軸加速度センサ、 スイッチ操作、速度超過による記録
重量	200 g (取付けステーおよび内蔵バッテリー含む)



※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。